

【二大事業】 衛星観測に関する事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	GOSAT-GW の打ち上げ成功および複数衛星による観測体制の構築により、温室効果ガスの全球的把握に関する国際的に重要な成果が着実に創出されている。長期観測データの蓄積やデータ利用拡大、国内外機関との連携を通じて、社会的・国際的な貢献が進展している。	高く評価していただき、ありがとうございます。
	GOSAT によるメタン観測で、セクター別に出せるようになったことは良いが、その確度・精度は十分と言えるか。	メタンのセクター別年毎排出量の推定（相対）精度は現状 20% 前後であり、各国の排出量削減施策の評価を年毎に行うには、まだ不十分です。さらなる改善に取り組みます。
	ロサンゼルスを対象に最初の解析を行っているが、日本の領域を対象として行った結果を示さないのは、結果が見えにくいからなのか。GOSAT-1 の最終処理、つまりスペースデブリにならないように回収することなどは考えているか。	COP30 の準備段階では 3 号機のデータの蓄積が不十分であり、その間の晴れた大都市のデータはロサンゼルスくらいしかなかったという事情です。衛星の寿命については JAXA による年毎評価が行われており、最終処理のための軌道変更に必要な燃料が残っていることなどを常に確認しています。
今後への期待など	アジアとの連携を含め、国際連携のさらなる深化を今後期待したい。	アジア諸国とは、検証観測（フィリピン、インド）・国毎排出量推定（中国、モンゴル、インド、中央アジア諸国）・大都市（韓国）・衛星間比較（中国、韓国）など、重層的な連携を引き続き環境省との連携の下進めます。国内外の他の機関とも、当所と共通の取り組みを行っている機関との協力、および当所が行っていない取り組みを行っている機関との役割分担の両面から連携を強化していきたいと考えています。
	GOSAT-GW が打ち上げられ、データ解析が開始され、詳細な地区ごとの CO ₂ 、メタン、NO _x の濃度が測定されるようになった事で、発生源の特定などの成果が期待される。	今後、GOSAT-GW のデータ解析を加速していきたいと思えます。

【二大事業】衛星観測に関する事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	GOSAT・GOSAT-2・GOSAT-GWの観測・データ処理・プロダクト提供が計画的に進められ、国内外機関との連携、論文発表、政策貢献など多面的成果が確認される。	GOSATシリーズ衛星3機の運用と4号機の実現により、我が国にしかない長期全球観測データやそこから得られた科学的知見の国際社会への発信を継続します。また環境省と連携し、他国におけるGOSATデータ利用を加速します。
	GOSATシリーズによる長期・高精度の温室効果ガス観測が継続され、国別・セクター別排出量評価や全球炭素収支解析に貢献する世界トップ水準の科学的成果が創出されている。	評価いただきありがとうございます。
今後への期待など	アジア諸国を含む国際共同研究や衛星データ共有を拡大すると同時に、全球炭素管理やグローバルストックテイクへの貢献をさらに高めていただきたい。GHG以外の観測成果や社会的価値を含めたアウトリーチ・広報を充実させ、国際的・社会的認知を一層高めることを期待する。	インド・中国・韓国とは共著論文・相互訪問など研究者個人レベルでのデータ共有・情報交換が実現できています。ただ正式な機関間協力については正直なところやや敷居が高いです。今後努力します。また、他国の宇宙機関との協定を生かした衛星観測推定値の比較や、国際機関（WMOやUNEP）や民間衛星データプラットフォーム経由でのアウトリーチ強化に努めます。
	科学的信頼性と国際貢献は素晴らしいが、「科学→政策→地域実装」への翻訳設計（ガバナンス、人材、データの渡し方）が次段階の評価軸になりうる。特に自治体・途上国利用を意識した設計強化が今後望まれる。	地方自治体や途上国における1～3号機のデータ利用を環境省と連携しながら進めるとともに、そういった活動で得られた知見の4号機の設計への反映も考えたいと思います。
	4号機の計画において、今までのGOSATシリーズの各号との役割分担など考慮して、効率の良い運用がなされることを期待する。	4号機の設計においては、1～3号機との継続性／差別化や我が国の強み／他国との差別化、国際的ニーズなども視野にいれて取り組みたいと思います。